

【1 子供が元気に通える学校】

(1) 子供が学習に興味関心をもち、基礎・基本の定着を図る。

- ・学習規律の確立を図る。
- ・授業時数を十分に確保する。
- ・分かる、できる授業により基礎基本を定着させる。
- ・主体的・対話的な深い学びを促す授業を推進する。
- ・読書活動の充実を図る。
- ・ICTの活用を図る。
- ・家庭学習を推進する。
- ・アニメを活用した教育を推進する。
- ・オリパラ教育に関して、授業を通して実践する。

(2) 豊かな人間性を育てる。

- ・挨拶の定着を図る。
- ・人権教育の推進を図る。
- ・いじめ、不登校等について組織的に取り組む。
- ・特別の教科道徳の充実を図る。
- ・小中一貫教育の充実を図る。

(3) 体力の向上を図る。

- ・健康な体への意識向上と体力向上を図る。
- ・早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を定着させる。
- ・食育への関心をもたせる。
- ・保健指導や安全指導を推進する。

教育目標<目指す児童像>

○ よく考える子供

- ・学習意欲の向上、基礎・基本的な知識や技能の習得、これらを活用する思考力・判断力・表現力などの総合的な学力の育成に努める。

○ 仲よくする子供

- ・豊かな情操とみずみずしい感性を育み、人と協力して、差別やいじめを許さない心の教育を推進する。

○ 健康な子供

- ・たくましく生きる基盤として心と体の健康を大切に、知・徳・体の調和のとれた子供の育成に努める。

目指す学校像

- 1 子供が元気に通える学校
- 2 保護者や地域から信頼される学校
- 3 教職員が協働できる学校

挨拶あふれる石東小

【2 保護者や地域から信頼される学校】

(1) 情報の積極的な発信

- ・学校公開、行事等の保護者参観
- ・学校日より、学年日よりやHP等での発信を行う。

(2) 相談体制の構築

- ・スクールカウンセラー、心の相談員との連携を図る。
- ・ふたばルームとの連携を図る。

(3) 地域とのかかわり

- ・学校・地域連携事業を推進する。
- ・子供たちの地域への愛着を育む。
- ・PTAとの連携を図る。

(4) 安全・安心な学校生活

- ・危機管理の徹底を図る。
- ・学校設備の安全対策を行う。

【3 教職員が協働できる学校】

(1) 教職員で共有した生活指導

- ・4つの「あ」（挨拶・集まり・後始末・安全）の徹底。
- ・子供の実態把握と対応の検討を行う。

(2) 報告、連絡、相談

- ・学校全体で対応する。

(3) 教員の資質向上

- ・校内研究の推進を図る。
- ・教育公務員としての自覚をもつ。

- ・第二土曜日の学校公開（6月・9月・11月・1月）振替休業日なし
- ・運動会、学芸会を午前中に実施し、5時間授業 振替休業日あり
- ・登校時間 8時5分～8時15分に門に入る（北門電子錠）
- ・水泳指導は7月で終了（夏季水泳指導は低、中、高学年で5日間）
- ・通知表の所見は3学期のみ（1、2学期は個人面談を実施）
- ・給食無償化
- ・家庭学習推進週間の設定